

第5回 AIAA - JFSC 総会の開催

AIAA Space Japan Review 編集委員長 若菜弘充

平成15年10月9日(木)、第5回AIAA衛星通信フォーラム(JFSC)の総会が独立行政法人通信総合研究所で開催された。前回第4回総会の開催が遅れ、平成15年1月30日であったことから間がない開催であったが、通信総研からの参加者も含めて、40名を越える参加者があった。これら2つの総会の間には4月15日から19日にパシフィコ横浜で開催されたAIAA通信衛星システム国際会議及び宇宙産業展2003(21st AIAA International Communications Satellite Systems Conference and Exhibit, AIAA ICSSC-21)というビッグイベントがあった。本稿では本総会様子を紹介する。

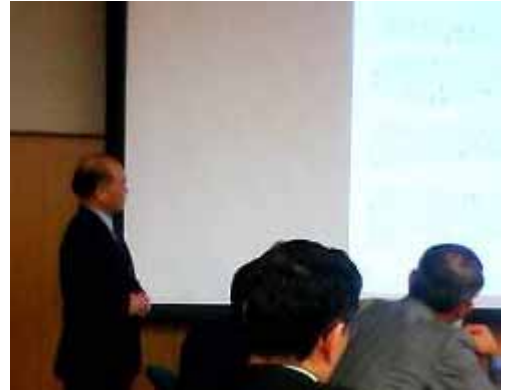


写真1 古濱JAXA理事による基調講演

第5回 AIAA - JFSC 総会議事次第

(1)開会	MELCO 中村事務局次長
(2)会長挨拶	MELCO 原田事務局長(谷口会長代理)
(3)基調講演	「JAXA - 宇宙利用推進本部のプログラム」 宇宙航空研究開発機構(JAXA)古濱理事
(4)平成15年度事業と会計報告	CRL 若菜財務委員長
(5)Space Japan Review 誌の発行状況 報告	CRL 若菜 Space Japan Review 編集委員長
(6)会員状況	CRL 門脇メンバーシップ委員長
(7)AIAA-ICSSC-21 報告	CRL 鈴木副会長
(8)TCCS 報告	SCC 三浦国際部長
(9)次期役員紹介	CRL 鈴木副会長
(10)次期活動計画及び次期 ICSSC 開 催等について	CRL 鈴木副会長
(11)閉会	MELCO 中村事務局次長

谷口会長の挨拶(代理で原田事務局長が行った)の後、宇宙開発事業団、航空宇宙技術研究所、宇宙科学研究所の三機関が統合した宇宙航空研究開発機構(JAXA)の古濱理事が「JAXA-宇宙利用推進本部のプログラム」と題して基調講演を行った。JAXA の組織構成の紹介に続いて、JAXA の新機軸として世界最高の信頼性を持つ宇宙輸送システムの実現、地球環境問題への貢献、生活に密着した宇宙技術の育成、世界最高水準の天文衛星観測と月・惑星探査の推進、国産航空機開発への貢献を挙げた。個別の衛星プロジェクトとしてETS-VIII、WINDS、測位、DRTS、OICETS、ADEOS-II、ALOS、GOSAT、GPM/DRPと数多

くの衛星計画が紹介された。これだけ並ぶと壮観である。是非、国民生活に密着した成果が次々と生まれ出るように期待したい。Space Japan Review 誌でもこれらの衛星計画のアップデートされた記事を随時掲載するようにしたい。

平成15年度の事業報告として、主なものはAIAA ICSSC-21 に関わる事項で、経費としてはJFSC Award経費とスポンサー経費が主である。その後、Space Japan Review誌の発行状況を報告した。Space Japan Review誌はウェブ発行として、次のURL (<http://www2.cri.go.jp/mt/b150/SJR/>) において隔月の定期発行を守っている。主な記事内容は、このページをご覧になっている読者の皆様にはおわかりと思うが、Executive Comments、世界のCEOに聞く、総力特集、Selected Paper、衛星通信と私、衛星余話、Space Japan Milestone、学会だより、Topics from Within、世界のニュースから構成されている。最近の号では、Executive Commentsとして九州大学の立居場教授、カナダ通信研究センター(CRC)のターコット所長、宇宙開発委員会井口委員長が登場され、世界のCEOへのインタビューではボーイングサテライトシステムズインターナショナルのライアン社長、COMDEVのキーティング社長、JSAT吉田社長、SLLウーウィット社長というそうそうたる人物が登場している。「衛星通信と私」では衛星関係で活躍する女性を中心に取り上げている。全部の記事がそうすることは残念ながら少ないが、編集委員会ではボランティアベースでできるかぎり多くの記事を集めている。Space Japan Review 2003年4月/5月号にはAIAA ICSSC-21 の特集号として、この国際会議に関する様々な記事が掲載されている。

門脇メンバーシップ委員の会員状況報告の後、鈴木副会長とICSの平間さんからAIAA ICSSC-21の報告があった。現在報告書を作成中である。SCCの三浦国際部長(本総会をもって正式に国際部長に就任された)から、9月23日にモンレーハイアットリージェンシーで開催されたテクニカルコミティの様子が報告された。次期ICSSCにおけるAIAA賞のJFSCとしての推薦、展示会の開催の有無、次回以降のICSSCの開催地について難しい議論があったと聞く。次期役員候補が鈴木副会長より提案され、本総会にて承認された。本号以降のこのホームページに継続的に掲載されるので参照されたい。次期活動計画及び次期ICSSC開催計画等について報告があった。2007年に再度日本開催となるが、開催に係る負担が大きいことからAsia Pacific Satellite Communications Council (APSCC)や韓国との共催を模索する方向で検討したいとの報告があった。総会后、通総研本館2階に新設された展示室の見学を行い、懇親会を開いて解散した。次期JFSCはさらに充実した活動に取り組みたい。